

オホーツクの風

平成27年8月12日(木) 0013号

発行所
北見赤十字病院の
明日を考え支援する会
事務局
北見市緑ヶ丘1-10-16
Tel 0157-61-0684

歯科口腔外科開設

北館改装竣工、開院に合わせて

北見赤十字病院は昨年12月、新本館がオープンしました。それまで外来や入院の中核を担っていた北館は改修工事を終えて、歯科口腔外科や神経精神科、慢性期病棟などを備えてリニューアルしました。

6月19日(金)から旧東館・西館などから竣工した北館への大引越しが行われ、6月22日(月)にオープンしました。

それに合わせて「歯科口腔外科」が開設されました。

口腔外科とは

口腔(こうくう…口のなか)、顎(あご)、顔面そしてそれに関連する病気を診療します。歯が原因となるも

のから癌までさまざまな病気、また交通事故やスポーツなどの外傷、顎変形症などの外科的疾患のほかにも、口腔粘膜疾患、神経性疾患、口臭症などの内科的疾患も含まれます。また、食事や発音・会話がうまくできない



歯科口腔外科の担当
歯科医、左から辻副
部長、阿部貴洋副部長

などの機能的な障害に加えて審美的な障害も生じます。

治療により口腔・顎・顔面全体の自然な形態や機能が回復すると、顔全体がい



本館の左が新装なった北館、両館は連絡通路で繋がっています。

きいきとし、健康的な美しさを取り戻すことができます。そのお手伝いも口腔外科で行います。

診療のあらまし

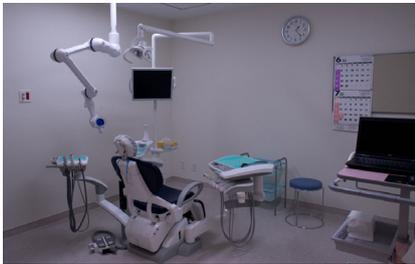
同科は身障者の診療を行います。意思疎通に支障がある人は診療までに時間がかかるほか、手術で全身麻酔をすること

もあり、高い専門性や受け入れ体制が必要になります。

これまでオホーツク圏では重度な障害をもつ患者に対応出来る医療機関が無かったため、地元の患者は旭川や帯広に行き、診療を受けてい



パノラマCT、レントゲン



診療施設

ました。診療体制は常勤の専門医2名、歯科衛生士4名です。身障者治療は「口腔保健センター」で毎週水曜日の診療が基本になっていま

また地域のの中核病院として、歯科医院などからの紹介患者を受け入れ、困難な手術に対応します。

また病院で手術を受ける前の口腔診療や入院している他診療科の患者に行うほか、病院スタッフへの指導にも取り組めます。

同科は『歯科口腔外科領域の専門性をいかして、オホーツク地域の障がい者に対する治療や、地域からの患者への健康障害から回復促進、慢性疾患の治療を行います。また、口腔機能維持のための予防ケアを促進します。』を基本理念に掲げ、診療にあたっています。

臨床研修医 第2回 北見での思い出づくりの集い

夏の日差しのもと非日常のひとときを楽しむ



平成27年8月2日(日)、北見赤十字病院の臨床研修医の皆さんをお招きして、「臨床研修医第2回北見での思い出づくりの集い」が夏の日差しが強い野付牛公園(イチイの森)で開催。

午前は北見フォークダンス協会の皆さんの指導でフォークダンスに興じ。正午



からは焼き肉とおホーツクビールで懇親パーティ。

開催の趣旨
北見赤十字病院は臨床研修医のリクル

ート活動に熱心に取り組んでいます。昨年9月、大阪の大阪ATCで行われた「eレジフェア2014 in 大阪や今(左下へ)



臨床研修医 北見での思い出づくりの集い

日時と場所:平成27年8月2日(日) 午前10時から、野付牛公園(イチイの森)

プログラム

- 10:00 イベントセレモニー
自己紹介 全員(お名前のみ簡単に)
歓迎のご挨拶 谷川代表(北見赤十字病院の明日を考え支援する会)
お礼のご挨拶 大川 陽史先生(北見赤十字病院 臨床研修医)
集いへのご挨拶 廣川課長(北見赤十字病院 総務課)
ダンス説明 北見フォークダンス協会
- 10:10 フォークダンス開始
から シングル曲(大きな輪になって踊ります)
11:00
① トロアパンカ(ブルガリア)
② マイムマイム(イスラエル)
ミキサー曲(ペアになって、パートナーが一人づつ変わって踊ります)
③ テネシー・ウイグ・ウオーク(アメリカ)
④ トロイカ(ロシア)
- 11:00から11:10 休憩
- 11:10 シングル曲
から ⑤ ナリノ(トルコ)
11:50 コントラ曲(向かい合って2列に並びます)
⑥ デイン・デイン・ドン(アメリカ)
シングル曲
⑦ ベッサラビア(ルーマニア)
- 11:50 一息ついてから以上の7曲を踊ります
から
12:10 終了後、記念撮影
- 12:15 焼き肉とおホーツクビールで懇親パーティ
から 乾杯 廣川課長(北見赤十字病院 総務課)
14:45 締め 鈴木課長(北見赤十字病院 人事課)
- 15:45 後始末とゴミの整理、終了

以上

主催:北見赤十字病院の明日を考え支援する会
協賛:(株)坂口精肉店・味覚園(栄町店)(焼き肉提供)
協賛:オホーツクビール(株)(オホーツクビール提供)
後援:北見フォークダンス協会(フォークダンス指導)

年、北海道の臨床研修医・合同プレゼンテーション2015札幌などのイベントで病院の専用ブースを作り、鈴木人事課長が中心になり全病院的にリクルート活動を展開しています。

病院は今年度の臨床研修医の受け入れ枠(10名)のフルマッチを達成しました。

北見赤十字病院を選出した臨床研修医の先生方は慣れない北見の地で、懸命に臨床研修に取り組みんでいます。北見での研修が少しでも楽し

私達は北見赤十字病院に多くの医師が勤務する医療環境に恵まれた街で暮らしています。感謝です。日頃、ご苦労の多い先生方、そして先生をサポートするスタッフの皆さんをお招きして、フォークダンスと親睦パーティで、非日常のひとときを楽しんでいきます。昨年8月末に開催を致しました。お陰様で評判が良く、病院の皆さんから(3面につづく)

クエストも戴き、今年、春からその準備を進めてきました。そして今回、「臨床研修医 第2回北見での思い出づくりの集い」を開催することになりました。

お天気に恵まれて

昨日まで雨と曇りの日が続いていましたが、今日は晴れた絶好のイベント日和です。

臨床研修医の先生方・10名、歯科衛生士の皆さん・3名、臨床検査技師さん・1名、総務課長さん、人事課長さんほか

仲良くダンス研修医激励

市民団体「北見赤十字病院の明日を考え支援する会」(谷川勝男代表)は2日、北見赤十字病院(吉田茂夫院長)で働く研修医を激励するための「北見での思い出づくりの集い」を北見市の野付牛公園で開催した。研修医10人と支援者、病院職員ら計40人以上が、晴天の下で焼き肉やフォークダンスなど楽しいひとときを過ごした。(梅原泉)



北見日赤支援の会が集い

北見赤十字病院(野付牛)の研修医を激励する会が主催する「北見での思い出づくりの集い」が2日、北見市の野付牛公園で開催された。

北海道新聞 平成27年8月3日

務部門の皆さん・8名、北見フォークダンス協会の皆さん・10名、当会のメンバー・11名、みんなで44名が午前の日差しが強い野付牛公園に集い、賑やかです。イベントセレモニーがプログラムに従って進み、心地よいリズムの音楽が公園に鳴り響きます。先生方は北見ダンス協会が用意したコスチュームを身に付けてご機嫌です。最初は少しぎこちなかったのですが、若い先生方をはじめ



皆さん、愉快地フォークダンスを楽しみました。途中の休憩で、氷を入れた飲み水のタンクで水分を補給して7曲を踊りました。

正午からは焼き肉とオホーツクビールで親睦パーティーです。今日のオホーツククラフトビールはエールです。



少しオホーツクビールが回った処で、臨床研修医の大川陽史先生の乾杯です。楽しい交流が続き、盛り上がった処で、森實副会長のご



厚意で、北見トヨペット(株)から景品の寄贈があり、その抽選を先生方を優先に行いました。抽選のお手伝いはもりぎねにいな(小学3年)ちゃんにお願いして。いにちちゃんからそれぞれに景品を手渡して戴きました。いにちちゃん、ありがとう。最後に鈴木人事課長さんの一本締めでした。

協賛への感謝

お開きと成りました。(株)坂口精肉店(社長坂口政義)さんが当会の趣旨に賛同して焼き肉料理を無償提供して下さいました。またオホーツクビール(株)(支配人大石祐司)さんがオホーツクビールを無償提供して下さいました。当日は味覚園栄町店・阿部店長さんが焼き肉料理やその資材の搬入・搬出を。またオホーツクビールのご担当の方にも大変お世話になりました。

今回のイベントにご協力を戴いた関係の皆さんに、本紙上をお借りして、厚くお礼を申し上げます。有り難う御座いました。

感動!! 「風に立つライオン」 映画を鑑賞

(上) 会員 荒田 悠

東日本大震災の傷跡の生々しい風景の中に一人の黒人が足を引かず歩いてくる姿が少しずつ画面に広がってくる。雨まじりの小雪が舞い散る寒々とした中でミケランジェロ・コイチロ・ンドゥング医師。医師が呆然と見渡すシーンから始まった。

「航一郎・やっとあなたの故郷へ来たよ」「和歌子の国の人はみんな温かい人たちだ」と黒人医師はつぶやいた。アフリカでの僻地医療・巡回医療に青春を懸ける青年外科医の物語(小説を映画化)。

母国日本に恋人を残しケニアのナクルにある熱帯学研究所の中に診療所があった。又、「国境な

き医師団」と共に活躍する。

映画の主人公、外科医島田航一郎は赤十字病院より派遣要請で赴任してきてさまざまな体験をする。

内戦で怪我をした黒人兵士がトラックでどんどん運び込まれてくるなかで、航一郎は手早く上手に手術をこなしていく姿を見た同僚医師たちは「よー・吉野屋!」と叫ぶ。当時日本では、CMで早いウマイ安いが流行っていた。

航一郎にとって、彼の心には国境とか、人種差別とは完全に無縁であり、患者に誠実であった。

「ダイジョウブ!」、ダイジョウブ!」と底抜けに明るく笑顔で心身共に傷つ

た兵士たちを癒やすのだった。

—— 観客の私にも伝わってくる—— 寝る前、真っ黒い地平線に向かって一人立ち大声で叫んでいる航一郎「ガンバレ!ガンバレ」と。

朝早く太陽の前、美しい空を岩の上に座って太陽ののを待っているところに院長がやって

くる。「先生、素晴らしいですから太陽が出るのを見ませんか」と航一郎は言っ

た。群れから離れたライオンって……すごく厳しいんです」と院長に話

す。南スーダンの内戦が激しくなり、航一郎はロキチヨキオ病院へ移った。その病院で和歌子(石原さとみ)と出会う。22

「死を待つ人々の家」の医局で働いた経験を持つ、ズボンの似合う笑顔の可愛い女性。

ある日、航一郎を震えさす出来事が起こった。子どもばかり数人の怪我人が国境辺りからトラックにて搬送されて来た。

子供たちは地雷によつて足を損傷している。片足を失うほどの大怪我である。無情にも子どもたちは地雷の実験動物のように兵士たちの前を一列になって歩

かされて20人は死んでしまったと言

う。子どもたちの恐怖心を少なくするため麻薬を腕に打たれていた。そんな中に一人だけ怪我の様子

の違う子どもがいた。その子も瀕死の状態であった。その子がいきなり航一郎の腕をかじって

はなさない。周りの医師が押さえつけたが、「ダイジョウブ、ダイジョウブ」と航一郎は笑顔で次の言葉を少し考えていたが、「安心して

ろ!!ここは病院だ。敵じゃない!!」と言うと、子どもは

編集後記
平成27年8月2日の過去のお天気を調べると、平成26年・曇り晴、平成25年・曇り、平成24年・曇りです。雨が無いので、神頼みで、「臨床研修医第2回北見での思い出づくりの集い」の開催をこの日に決めて準備を始めました。平成27年7月28日の天気予報が「曇り」です。雨にはならないと最終開催決定を役員会で承認しました。
そして当日、快晴、気温30度のお天気に恵まれ、臨床研修医の先生方の若い笑顔に出合いとても嬉しく思っています。ご参加を戴いた北見赤十字病院の皆さん、北見フォークダンス協会の皆さん、ありがとうございました。当会スタッフの皆さん、お疲れさまでした。
(逢坂)



(つづく)